



気候変動との戦い —分断された世界で試される人類の団結

—私たちにできること— 青年たちのための国連開発計画 人間開発報告書(2007/2008)



摂氏2度の気温上昇

希望と絶望の分かれ道

制作：世界の青年たち、ピース・チャイルド・インターナショナル



目次

- 4 まえがき 国連からのメッセージ
- 5 編集を担当した仲間たちからのメッセージ
- 6 気候変動：人類は重要な局面に差しかかっている
- 8 人間開発って何？
- 10 貧しい人々：最も罪がない人々が最も被害を受ける
- 12 今日をしのぐために明日のしあわせを奪うことはできない！
- 14 権利のために戦う
- 16 今日の行動が明日の結果へとつながる
- 18 気候変動の緩和：問題をこれ以上深刻にしないために
- 22 気候変動への適応：気候変動とともに暮らす
- 26 ひとつになって立ち向かおう！
- 28 未来を見つめる青年の視点：2℃の気温上昇をめぐるふたつの選択肢
- 31 地球規模の課題にひとりひとりが取り組む
- 33 青年たちへ：街に飛び出そう！
- 34 行動する青年たち：ココロに残るはなし
- 35 もっと活動を広げていこう

この出版物は、教育を前提とした場合には、その全体あるいは部分を特別な許可を受けることなく無償で複製することができる。ただし、ピース・チャイルド・インターナショナル、UNDP、当該執筆者および写真提供者を出典として表示し、右の連絡先に編集者に書面で連絡を行うこと。

ピース・チャイルド・インターナショナルおよびUNDPからの書面による事前許可なしに、当出版物を再販およびその他のいかなる商業目的でも使用することはできない。当報告書に掲載されたすべての図表は、当該する作者への連絡および事前許可のもとに複製されたものであり、当出版物の内容に関するいかなる著作権の侵害などに関しても、制作・出版社・および印刷機関は責任を負わない。

著作表示は、提供された情報に基づき正確に示されるよう、あらゆる取り組みのもとに掲載した。当出版物に示された見解は著作者によるものであり、ピース・チャイルド・インターナショナル、UNDP、あるいはその代表者の見解と必ずしも一致するものではない。

注) 文章中の通貨の換算：1米ドル=100円

編集

Aoife O'Grady, アイルランド

デザイン

Natalia Aguilar Santos, エクアドル

プロジェクト・コーディネーター

Oliver O'Callaghan, アイルランド

メディア・コーディネーター

Adam MacIsaac, カナダ

ウェブ・マスター

Matthias Schmidt, ドイツ

ゲスト編集者

Dana Podmolikova, チェコ共和国

Karina Pilar Sandoval, ペルー

Charles M. Sendegeya, ウガンダ

Vikisha Thillainadesan, オーストラリア

Nafiz Zaman Shuva, バングラディシュ

寄稿

Pawan Alex, インド

Adetunji Olabode Akinwumi, ナイジェリア

Martial Bella, カメルーン

Samantha Lyn Black, 米国

Michael Boampong, ガーナ

Suzy Bouden, 英国

Damien A. Côté, カナダ

Younes Dokkani, モロッコ

Andrea Davidson, カナダ

Adam Daroszewski, ドイツ

Chloé Gaudet, カナダ

Daniela Giardotti, アルゼンチン

Vaakesan Guruparan, オーストラリア

Gisela Joos, アルゼンチン

Dirya Kanan, インド

Anna Juchnowicz, ポーランド

Vida Morkunas, 米国

Katherine Mead, 英国

Zelalen Mekomen, エチオピア

Virginie Mercier, フランス

Sorouche Mirmiran, カナダ

Baraka P. Mtinda, タンザニア

Lana Elena Ramos Simielli, ブラジル

William Rowland, 英国

Eliot Ruocco-Trenouth, 英国

Martin Sanchez, ボリビア

Carolina Santiago, マレーシア

Vinayak Sasitharan, オーストラリア

Ruth Simmons, 英国

Casper Supa, ソロモン諸島

Samara Tanaka, ブラジル

Maria Mercedes Toledo, エクアドル

Dana Troy, 米国

Robin vanWaarden, カナダ

Trudy Veitch, カナダ

Indah Waty, インドネシア

プロジェクト・アドバイザー

David Woollcombe

UNDP担当者

Marisol Sanjines

Pedro Manuel Moreno

© Peace Child International
The White House, 46 High Street,
Buntingford, Herts. SG9 9AH, UK
Tel. (+44) 1763 274459
Fax. (+44) 1763 274460
www.peacechild.org

© United Nations Development Programme
1 UN Plaza, New York, New York, 10017, USA
<http://hdr.undp.org>

この冊子を作成するにあたって、どのようなタイトルにするか、私たちは真剣に考えました。世界中で起こっている気候変動について、たくさんの情報があふれているなか、人々の目を引くタイトルをつけたいと考えました。

そして、たどり着いたのが『摂氏2度の気温上昇：希望と絶望の分かれ道』というタイトルです。これは、この冊子を読む人たちに具体的な数値とふたつの明確な選択肢を示す意味を込めています。

気候変動が危険な状態に達する値（限界値）に関しては、議論が続いていますが、国連開発計画(United Nations Development Programme, UNDP) 発行の『人間開発報告書 2007/2008 気候変動との戦い—分断された世界で試される人類の団結』(阪急コミュニケーションズ社より発売)は、「地球上の気温が産業革命前の値に比べて2℃上昇すれば、気候変動は危険な状態に達するだろう」と述べています。もし私たちが、何の対策もなしに今のままの生活を続けていけば、世界の平均気温の上昇は5℃を超えてしまうと考えられています。そうなれば、高い確率で大惨事が起こることになってしまいます。

科学的な議論はまだ続きますが、この未来を「希望」か「絶望」のいずれかに導く選択肢のうち、どちらかを選ぶかは、もう先送りすることはできないのです。



Katherine Mead, イギリス

わかっていること：

危険が存在すること

わかっていること：

温室効果ガスの排出によって生じた被害を取り戻すことはできないということ

わかっていること：

行動を起こさなければ、気候変動による被害は1日ごとに大きくなるということ

ケマル・デルピシュ
国連開発計画 (UNDP) 総裁
アキム・シュタイナー
国連環境計画 (UNEP) 事務局長

「まるで無料であるかのように地球の環境や資源を扱うことをやめなくてはならない。また、まるで代償を支払う必要がないかのように二酸化炭素 (CO₂) を排出するのもやめるべきである。CO₂の排出は人類全体の大きな代償をともなう。『人間開発報告書 2007/2008』は絶望を語る場ではない。この報告書は、世界の最も富める国々に行動を求めているのだ。私には、世界中で最も貧しい人々の命や地球の将来を犠牲に危険な賭を続ける先進国の態度は、理にかなったものとは思えない。」

ケビン・ワトキンス (『人間開発報告書 2007/2008』筆頭著者)

まえがき 国連からのメッセージ

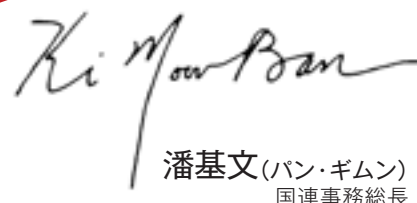
今回、この青年たちのための国連開発計画 (UNDP)『人間開発報告書 2007/2008』が発行されることを嬉しく思います。気候変動の科学的説明は非常に複雑ですが、事実は実に簡単です。私たちの世界は悲惨な気候変動へと向かっているのです。2007年、私自身も南極でこの事実を目の当たりにしました。予想以上に速いスピードで古代からの氷が溶けており、87キロメートルにおよぶラーセン氷棚が崩壊し、たった3週間で消えてしまったことを知りました。もし南極大陸の西側を形作る氷棚がすべてこのように崩壊すれば、海面は6メートルも上昇してしまいます。私たちが自分たちの暮らしを大きく変えない限り、皆さんが私の年齢に達する頃には、この世界は住むにふさわしい環境ではなくなってしまいます。

気候変動を食い止めるための大きな変化をもたらすには、今この冊子を読んでいるあなた方のような青年たちの手助けが二つの面で必要です。まず一つ目は、住んでいる地域、地方、国の政府の判断に、積極的、全面的に関わっていくこと。すなわち、政府に陳情や働きかけをし、そして気候変動を食い止めるための法案の通過を公約している候補者に投票すること。そして二つ目は、炭素排出量の低いライフスタイルと仕事の選択を優先することが必要です。

何かに依存することは恐ろしい結果をともないます。依存は私たちをむしばみ、生活を支配します。私たちは重要な事実を否定するようになり、自らの行動がもたらす結果が見えなくなってしまいます。今、世界は化石燃料への危険な依存に直面しています。先進国の発展を導いてきたのも、多くの人々の快適で豊かな生活も、みな石炭と石油のおかげだということを考えれば、この依存も当然の結果かもしれません。しかし、化石燃料への依存を続ければ、母なる自然からの一度きりの贈り物である化石燃料を使い果たしてしまい、皆さんの生きている間にほとんどがなくなってしまうのです。そして、皆さんの世代も、また何十億もの開発途上国の人々も、もはやこの快適で豊かな生活を送ることはできなくなります。

ですから、代替エネルギー源を見つけることは、皆さんの世代にとって必須の課題なのです。環境にやさしい経済へ社会がうまく移行するによって、大きな収益を得ることも可能です。温室効果ガス排出が全くないエネルギーに対する投資は、2020年までに世界で1兆9,000億米ドル(190兆円)に達すると国連が推計するように、グリーンな経済成長は新たな雇用をもたらします。これらの投資が元手となり、世界の産業は根底から再構成されることになるでしょう。

皆さんがこの冊子を読むことで、希望を持って、より安全で持続可能な未来への道しるべを得ることを期待しています。これから起きる世界経済の大規模な変化は、CO₂の排出の少ない社会開発のために行動を起こした人々、特に後開発途上国の人々にとってより良いものとなるでしょう。あなたも、今日からその変化の一員となりませんか？


潘基文(バン・ギムン)
国連事務総長



Matthias Schmidt, ドイツ

英国の小さな地方都市にある、ピース・チャイルド・インターナショナルのホワイトハウス本部。UNDPの『人間開発報告書2007/2008: 気候変動との戦い—分断された世界で試される人類の団結』の青年向け冊子を作成するために、その一番奥にある部屋に私たちは集まりました。でも、400ページもあるこの報告書をどうやって要約すればいいのか？ 意見、実話、アート、詩やコメントなどを寄せてくれた何百人もの仲間たちの声をどうやって届けようか。どうしたら気候変動に関する議論に有意義に貢献をできるのだろうか？ 私たちは、話し合いを繰り返し続けました。

これを読んでいるあなた方も21世紀の中頃にはもう青年ではなくなっています。あなたも私も年老いて、白髪で、一日中うたた寝をする老人になっているかもしれません。そのとき、どのような場所に住んでいたいと思いますか？ 孫に「CO₂の排出量を減らすために何か努力した？」と聞かれたら、「うん、もちろんしたよ」と返事をしたいと思いませんか？

1987年には、地球温暖化の進行を告げる緊急警告がすでに発せられていました。しかし20年以上たった今でも、ほとんど対策がとられていません。世界がまどろみから目を覚まし始めた今、母なる地球が大きな問題に直面していることにやっと気づいたのです。

この冊子は青年たちの手によって青年たちのために作成されたものです。イギリスに集まった私たちだけでなく、世界各地の何百人もの青年たちが、作品や編集の段階で、コメント、批評などを寄せてくれ、あなたが手にしているこの冊子の制作に関わっています。

気候変動に対して行動を起こそうという呼びかけが世界中のすべての大陸、すべての国、都市、町、そしてすべての家庭に伝わることを願います。少しずつ、そしてひとりずつ、今日の行動を変えることで、来るべき世代の人々に、より持続的な明日を届けることができるのです。

何もせずにこれから50年を過ごし、老いた自分の顔や傷だらけになった地球の姿を見て、後悔のため息をつく…。そんなことがないように。呼びかけが聞こえたら、耳を傾け、自分自身の役割を果たすべきだと気づいてください。選択はあなたの手のなかにあるのです。



**編集を
担当した仲間
たちからの
メッセージ**

Matthias Schmidt, ドイツ

気候変動：人類は重要な局面に差しかかっている

なぜ気温は上昇しているの？

石炭、石油、天然ガスなどの化石燃料が燃やされると、温室効果ガスが発生します。18世紀中頃から活発化している産業活動によって、CO₂、メタン、亜酸化窒素の排出が急速に増加しました。これらの気体が大気中に層を形成し、熱が地上から逃げるのを妨ぎ、逆に熱が地上に反射されて気温を上昇させるのです。現在の気温上昇の大部分が90%の確率で人間の活動から発生する温室効果ガスによるものであると、最近の科学者たちは合意しています。

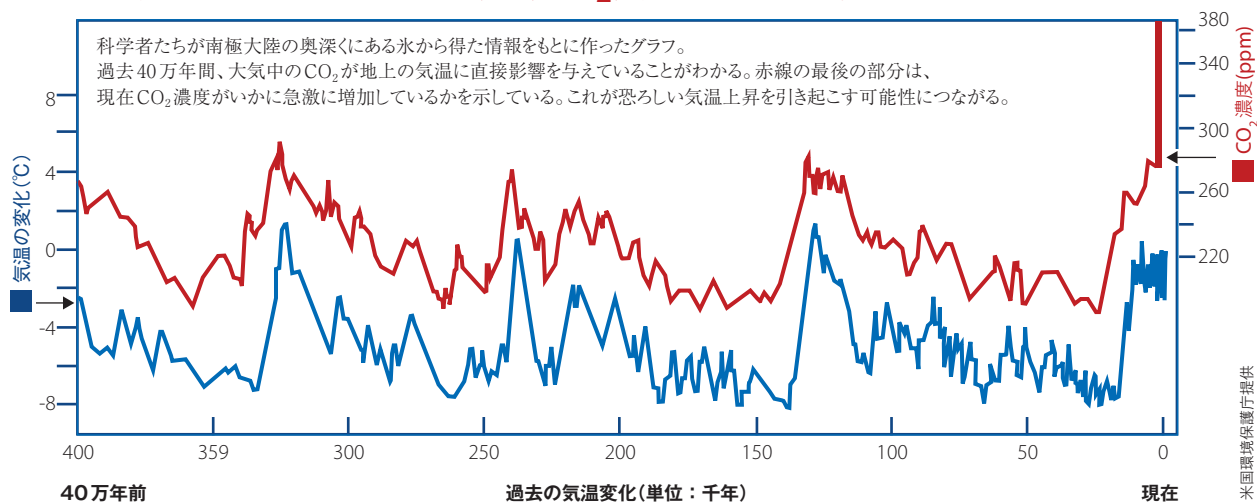
なぜ2℃なの？

気温がどれくらい上昇すると地球に破壊的な変化が起こるのか、明確な答えはでていません。しかし、『人間開発報告書2007/2008』では、気候変動を避けるためには、産業革命前に比べて気温から2℃以上上昇させるのは危険だとしています。気温上昇を2℃未満で抑えるためには、大気中のCO₂濃度を450ppmで安定化させなくてはなりません。



Andrea Davidson, カナダ

過去40万年間の二酸化炭素(CO₂)濃度と気温の変化



なんだか気温が上昇してない？



過去50年間の気温は、過去1,300年間のうちの、どの50年間より高い可能性がある。



現在、世界の気温は、約12,000年前に始まった間氷期のなかでは最高である。



1850年以降で最も気温が高かった12年のうち11年は、1995年から2006年にあてはまっている。

気候変動って何？

気候変動とは、地球の全体的な気象条件の変化のことで、最も顕著な変化は、地表の気温上昇です。「気候変動」という言葉が頻繁に聞かれるようになり、もはや聞いても危機感を感じなくなっていました。多くの

人には、どこか遠いところでいつの日か起こる、漠然とした危機を表すあいまいな言葉にとらえられています。しかし、気候変動は深刻な事実で、私たちの世代が直面している最大の課題なのです。

原因は？



CO₂の増加



森林破壊

どんな影響があるの？



海面の上昇



地表温度の上昇



干ばつ

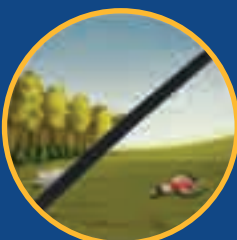


洪水や大気・降雨量への悪影響

それはどんな結果につながるの？



健康と教育上の被害



種の絶滅など生態系の被害



農作物への損害



水供給の枯渇



経済への被害

人間開発って何？

気候変動がもたらす 人間開発への脅威

私たちが一番自分らしく生きるための 選択肢を作り出すこと

人間開発とは、すべての人間が、各自の持っている能力を最大限に発揮し、健康で幸せな一生を送ることのできる機会を持つことができる世界を作ることです。

十分な栄養、教育、そして最低限の生活水準を得る手段など、開発のために各自が必要とする一定の基本的な条件があります。しかし世界の貧しい人々の多くは、これらの最低条件すら得ることができないのです。

気候変動は、私たち人類がひとつの家族として成長を遂げることを妨げる可能性を持っているだけでなく、これまでに達成してきた開発の多くを崩壊させてしまう危険性も持っているのです。

「開発の基本目的は人々の
選択肢を拡大することです。
原則的には、これらの選択肢は
無限で、時間とともに変わるもの
です…（中略）…開発の目標は、
人々が長く、健康で、創造的な人生
を送ることができる環境を作る
ことです。」

マブーブル・ハック
（『人間開発報告書』発案者）

危険な気候変動は、貧しい人々の状況をますます悪化させ、また、現在豊かな生活を送ることのできている人々の持つ自由を覆してしまうおそれがあります。例えば、チベット高原の氷河が溶けてしまえば、東南アジアの主な河川のうち4本が干上がり、世界の人口の3分の1が命を危険にさらすことになります。

気候変動が人間開発にとっての最大の脅威であるのはこのためです。

過去において開発は、経済だけを物差しにして計られてきました。しかし、人間開発の考え方では、経済的な状況以外の多くのものが考慮されます。栄養、教育や最低限の生活水準などがすべて重要な条件なのです。

『人間開発報告書2007/2008』には、気候変動が人間開発に与える可能性のある影響について、詳細に述べられています。また、私たち人類がひとつの家族としてこの問題に立ち向かうために、何をしなければならないのかも書かれています。



Maria Mercedes Toledo, エクアドル

農業と食糧への影響



干ばつや降雨パターンの変化は、極度の食糧不足や農業生産量の減少につながります。

水不足



氷河が溶けると、洪水の後に河川が干上がり、大規模な水不足が起こります。先進国も大きな被害を受けます。例えば、カリフォルニア州のシエラ山脈の雪が溶けてしまうと、ロサンゼルスなどの大都市でも水不足の危険にさらされます。

健康上のリスクの増大



人々の健康は、直接的および間接的に被害を受けます。特に貧しい国々では、被害に適切に対応するための公衆衛生の制度がありません。マラリアに感染する人の数はさらに2億2,000万人から4億4,000万人も増加すると予測されています。

自然への影響



気温の上昇幅が3℃を超えると、生物種の20%から30%が高い絶滅リスクにさらされます。サンゴ礁の白化現象により、海洋の生態系が変化し、海の生物多様性が失われてしまいます。

洪水と異常気象



継続的な気温の上昇は、干ばつ、洪水や激しい熱帯低気圧をもたらします。バングラディシュ、エジプト、ベトナムに住む人々は移住を余儀なくされ、小さな島々からなる国は完全に海へ沈んでしまいます。

私たちの暮らし方を変えなければ、2080年までに世界で

栄養不良に苦しむ人の数がさらに6億人（現在の全人口の9%）増加し、水不足に苦しむ人の数がさらに18億人（中国と米国の人口を足した数よりも多く）増加する。

『人間開発報告書 2007/2008 概要冊子』より

貧しい人々―最も罪のない人々が最も大きな被害を受ける

貧しい人々はCO₂の排出量が少ないにもかかわらず、気候変動の被害を最も受けやすい立場にあります。一番罪のない人たちが最も大きな被害を受けるのは「公平なこと」でしょうか？

世界で最も貧しい10億人の炭素排出量は、世界全体の排出量の3%でしかない。

『人間開発報告書 2007/2008』
(p. 65)

裕福な人々と貧しい人々の間には大きな格差が存在し、現状でもとても不平等です。気候変動の影響はこの不平等をよりいっそう大きくします。例えば、自然災害の後、貧しい家族の子どもが多くが学校にいけなくなります。ニカラグアでハリケーン「ミッチ」の被害を受けた家庭では、学校に通いながら働かなければならない子どもの割合が7.5%から15.6%に増えました。この子どもたちは、将来貧困から抜け出すことがより困難となるでしょう。

もし、開発途上国の人々のひとりあたりの炭素排出量が豊かな国の人々と同じ量になったとすると、なんと地球が6個も必要になるのです。

「気象パターンが変化し、農家の人たちは作物を植えるタイミングがわからなくなってしまいました。海面が上昇し、漁業で生計を立てている人たちは暮らしていけなくなりました。」

Adetunji Olabode
Akinwumi,
ナイジェリア

「雨が大幅に不足し、食糧不足や飢餓の危険が増えています。食料の保存や病気の伝染防止など、被害を予防するための知識も不足しています。」

Baraka P. Mtinda, inda,
ダルエスサラーム、タンザニア

「なぜ、バングラディッシュ人はこんなに苦しまなければならないのでしょうか？ 私たちには食糧、医療、教育、経済的安定を持つ権利はないのでしょうか？ 私たちは人間ではないのですか？」

Karimon,
バングラディッシュ

「ここに住む子どもたちは気候変動について何も知りません。毎日暑く、洪水が起きていますが、これが気候変動とどう関係しているのかわからないのです。」

Indah Waty,
インドネシア

「ここに住む私たちにできることは、ただ、暴風雨や海面の上昇、豪雨などで家が流されるのを見ていることだけです。ほかの人たちの行動によって引き起こされた気候変動を防ぐ手だてはありません。ソロモン島民の多くは気象災害が気候変動の結果だとは知りません。異常気象は、自然のもたらすものだと思っています。」

Casper Supaporo 村
オノリア、ソロモン諸島



気象災害は、その後も長年にわたって貧しい人々の暮らしに大きな影響を与えます：

エチオピアでは、干ばつ期に生まれた5歳以下の子どもは、そうではない時期に生まれた子どもに比べ、栄養不良になる可能性が36%高く、発育不良となる可能性が41%も高い。ケニアでは、干ばつの年に生まれた子どもが栄養不良になる可能性は、そうでない子どもよりも50%も高い。

ニジェールでは、干ばつで生まれた2歳以下の子どもは、そうでない子どもに比べ、栄養不良の可能性が72%高い。

『人間開発報告書 2007/2008』(p. 115)

気候変動の犠牲となるバングラディシュ

2008年4月14日、私は祖国バングラディシュ、ファリードプルにあるチョー・カルパー村を訪れました。この川辺の村では、人々が気象災害の大きな影響を受けていました。

カリムさんという漁師は「川の浸食ですべてを失ってしまい、住む家もない、今日食べるものが手にはいるかどうかもわからない」と話していました。それを聞いていた隣の年老いた女性は、「何が起るか見当もつかない。来年あなたがここに来て、私たちはもうここにはいないかもしれないよ」と言っていました。彼らは気候変動のことなど何も知らずに、自然に起きることはどうしようもないことなのだ、と考えていました。

2007年11月にサイクロン「シドル」がバングラディシュを襲い、大きな被害をもたらしました。サイクロンが去った後、多くの人々が食べ物もなく、屋根もないところで寝泊まりし、農家の人々は作物をすべて失いました。私たちがこのような問題を引き起こしたわけではありませんが、その最前線で戦わなくてはなりません。バングラディシュのひとつの家族が1年間で排出するCO₂の量と、大きな



Nafiz Zaman Shuva, バングラディシュ

オフロード車が3,000キロ走る間に排出するCO₂の量が同じであることに、私は憤りを感じます。

では、どのような対策をとれば良いのでしょうか。知識を広げ、教育を行うとともに、開発途上国の環境を保護するために効果的な法律を導入していくことも大切です。私の祖国が生きのびていくためには、今すぐ行動を起こさなくてはなりません。

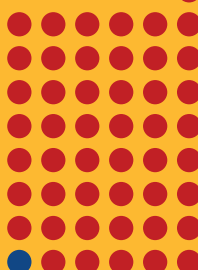
Nafiz Zaman Shuva, バングラディシュ

災害のリスクは、 開発途上国に偏っている。

自然災害の被害を受けるリスク
(10万人あたり)

- 開発途上国
- 高収入のOECD諸国

10万人あたり50人



1980-84



2000-04

出典：米国海外災害援助局 (OFDA) および災害疫学研究センター (CRED) の2007年データに基づき、人間開発報告所室 (HDRO) が算出。

今日をしのぐために明日のしあわせを奪うことはできない!!

つまるところ、世界はひとつの社会として持続的に「炭素予算」のバランスをとっていかなくてはならないということである。しかし現状では予算をオーバーし、未来の人々から環境上の借金をして暮らしているのだ。

『人間開発報告書 2007/2008』
(p. 65)

あるとき、著名な画家が、何を描くのが最も難しいかと聞かれた。

「人物、顔、それにペットなど、誰もがいつも目にしているものだ」と答えました。

次に、「では、一番簡単なのは?」と聞かれると、「幽霊だ」と画家は答えました。

理由を問われた画家は、「形がないから」

「幽霊は見えない。誰も見たことがないのだから、描くのはとても簡単だ」と答えた。

Charles M. Sendegeya, ウガンダ

この地球は私たちだけのものではない

未来というものは想像しにくいかもしれません。未来の人々は目に見えず、まだ名前もありません。今の時点では幻や幽霊のようなものだと思うことがあります。そのような考えから、人類は私たちの後にこの地球に住む人は誰もいないかのような行動をとってしまうことがあります。でも実際には、未来の人々は地球に住み、私たちが作った道を進んでいかななくてはならないのです。

今、この道を変えなくては、私たちの子どもたちが暮らしていく未来の世界を壊すことになってしまいます。

気候変動は、私たちにいろいろなレベルで考えることを求めています。このバラバラに分断された世界で私たちは「生態学的な相互依存」の意味や、人類が共通に持つひとつの財産、すなわち地球を管理してゆくことについて考えていかななくてはなりません。

私たちの社会は、未来の人々と時空間を共有しているのです。ですから、未来の人々の苦境も考慮しなければならないのです。未来の人々の声は時を超え、社会の平等や人類の結束を訴えかけています。私たちは、その声に耳を傾けているでしょうか?

Eliot Ruocco-Trenouth, イギリス



「この地球は私たちが先祖から受け継いだものではない。未来の子孫から預かっているものなのだ。」

アメリカ先住民の言い伝え



Lara Elena Ramos Simielli, ブラジル

母なる地球の嘆き

政治の課題は山積みで
世代を越える平等をめぐり
政府は重要な選択を迫られている。
母なる地球は気温の上昇を感じながら
温度調整を行うことができずにいる。

人々は母なる地球に毒をそそぎ
母の泣き声は嘆きへと変わった。
気候変動が訪れて激しくドアをたたいていたが
それは次々に押しかけてくる
干ばつ、洪水、飢饉を始めとした
招かれない災害の前兆だった。

未来の世界の子どもたちは
まだ私たちの想像のなかにいて
顔も形も今はまだ見ることはできない。
けれども今、行動を起こし、この状態を和らげなければ
今、私たちが無造作に手にしているこの自由は将来に
受け継ぐことはできないだろう。

母なる地球は鏡にその身を映し
そこに映る世界の状況を受け入れられずに
これから生まれくる子どもたちの将来を想う。
人の社会は見て見ぬふりを続けるのかに不安に感じつつ
母なる地球は嘆いている
「私は正しい道を選んだのだろうか?」と。

今日をしのぐために明日のしあわせを
奪うことは許されない。
でも、実は、とても簡単にできてしまうのだ。
まるで赤ん坊からアメを奪うように!

Vikisha Thillainadesan, オーストラリア

「我々は過去を振り返ることによってではなく、未来に対する責任によって賢くなるのである。」

ジョージ・バーナードショー

権利のために戦う

人権こそが問題の核心

気候変動と人権は切り離せない関係にあります。私たちイヌイットは、気候変動のために絶滅する可能性があります。私たちの人権が危機に陥っています。

2005年に私たちは、温室効果ガスを抑制する技術を使用した経済の発展を各国政府に要請する「気候変動人権陳述」を始めました。これは、米国による炭素の排出はイヌイットの人権を侵害しているとも訴えています。

シェーラ・ワットクルティエ
(受賞歴を持つ寒帯気候活動家)

「気候変動はすでに人権の実現を妨げ始めています。…私たちは、共通の人権枠組を通し、開発途上国や貧困地域の人々が、人権の擁護を訴える権利と権限を持つよう活動しています。」

メアリー・ロビンソン
(前国連人権高等弁務官)

「すべての人は、生命、自由および身体の安全の権利を有する」。気候変動の突きつける脅威を目の当たりにしていながら何も行動しないのは、この普遍的な権利をあからさまに侵害する態度と言わざるを得ない。

『人間開発報告書 2007/2008』(p. 83)

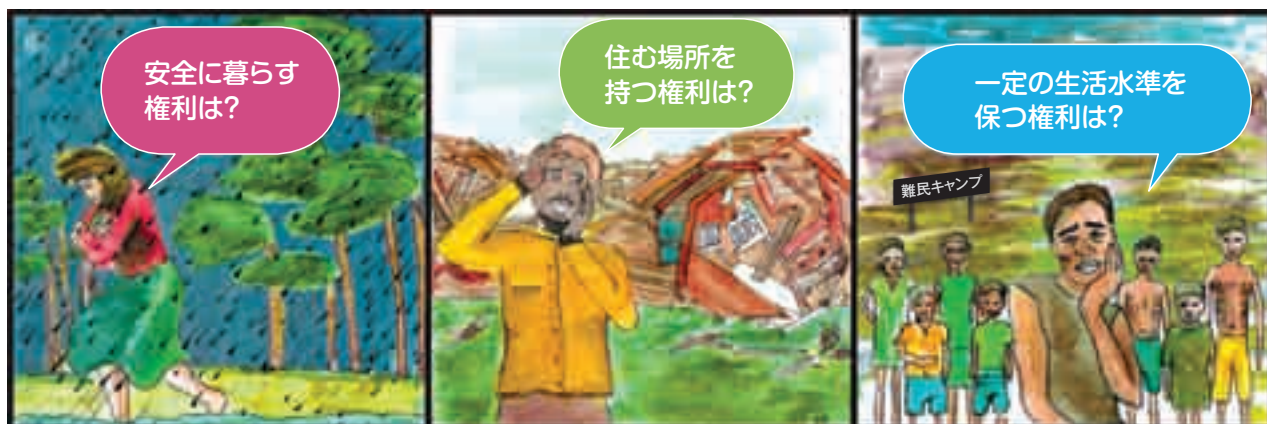
人権とは、あなたが人間であるという事実にもとない保障される、基本的な自由のことです。

基本的な権利は、2008年に60周年を迎える国連の人権宣言に示されています。1948年に宣言が制定された当時には、気候変動が人権を侵害する最大の脅威のひとつとなるとは想像もできませんでした。

しかし、気候変動の影響は、洪水、干ばつ、海面上昇など具体的な形ですでに現れ、私たちの人権を侵害し始めています。

- ・海面が上昇して住む場所が失われれば、住居確保の権利も侵害されます。
- ・干ばつで作物を失えば、食糧確保の権利も失われます。
- ・暴風雨や洪水の脅威にさらされれば、人の命や安全確保の権利も危険にさらされます。

指導者たちが国民の権利を否定すれば、私たちが抗議するのは当然です。気候変動によって権利が大きく危険にさらされている今、私たちはそれに見合った抗議を示しているのでしょうか？



Samara Tanaka, ブラジル

想像してごらん — もはや私たちを守るこのできない世界を！

想像してごらん、わずかに残った土地以外は、ただ海が広がる世界を

想像してごらん、森も林もなく、どこまでも砂漠が広がる世界を

想像してごらん、汚れた水であふれ、きれいな水が全くない世界を

想像してごらん、山に雪はなく、スキーもスケートもできない世界を

想像してごらん、空が見えず、月も星も見えない世界を

想像してごらん、外に出るにはガスマスクが必要な世界を

想像してごらん、野生の動物はどこにもいなく、写真や映画でしか見るこのできない世界を

想像してごらん、荒廃した世界が残され、そこに住む者たちが子どもの目にどのように映るかということ。

Pawan Alex, インド

最近のガーナの天候は耐え
難い。夜は暑くて眠れない。
集中豪雨が頻繁に起こり、
雨で人が命を落とし、農作
物や財産が破壊される。貧
困や飢えから脱し、環境の
持続性を進めようとする取り
組みを台無しにする。気候
変動は環境だけの問題では
なく、人権問題だ。

Michael Boompong, ガーナ

熱帯アンデス山脈の氷河の70%
がペルーにある。でも、氷河は、私た
ちの目の前から消えつつあり、それとと
もに人権も失われている。世界最大
のクエルカヤ氷冠では、1970年
代始めから今までの間に氷河の面
積が30%も減ってしまった。氷河の
水を灌漑用水に使っているペルー
の農家の人たちは、まもなく急激
な収穫減を体験するだろう。水不足
は、私たちが最低限の生活水準を
送る権利すら、激しくおびやかして
いる。

Kalina Pilar Sandoval, ペルー

私が幼かった頃、子どもたち
は暖かく晴れた日に太陽の下
を走り回っていた。今は、信じら
れないほど暑い。毎日34℃くら
いあって、5時頃になると暴風
雨で外は真っ暗になる。24
時間のうちで激しく変わる天気
は、地球温暖化の影響だ。
温暖化は私たちの健康と安
全な生活を危険にさらし、人
権を侵害している。

Carolina Santiago, マレーシア

Vinayak Sasitharan, オーストラリア

今日の行動が明日の結果へとつながる

ただちに行動を起こす決心をすれば、21世紀に起こりうる開発の逆行と大災害のリスクを避けることができます。今日の行動が将来の結果に結びつくのには時間がかかります。2008年に排出した温室効果ガスは2108年まで、あるいはそれ以降も大気中に留まるのです。排気量

を減らす取り組みをすぐに始めても、世界の気温上昇に効果が見られるのは2030年以降になります。行動を起こさずにいれば、1日が過ぎるごとに問題が大きくなっていきます。「緊急性」がカギなのです。



開発途上国

(大きな差はあるが、2050年までに1990年に比べて20%、温室効果ガス排出量を削減しなければならない。)



先進国

(2020年までに1990年に比べて30%、2050年までに80%の排出量を削減しなければならない。)



世界全体で

(21世紀の終わりまでに持続可能な排出量にするためには、世界全体の排出量を2050年までに50%削減しなければならない。)



「気候変動は、世界の首脳が現在直面する最も重要な課題である。将来の世代は、その課題への取り組み方で私たちを評価することになるだろう。」

ルイス・イナシオ・ルーラ・ダ・シルヴァ (ブラジル連邦共和国大統領)





Nafiz Zaman Shuva, バングラディシュ

この世界の現状…

1年間に
ヨーロッパで1台
の皿洗い乾燥機
から排出される
CO₂の量は、
エチオピア人
3人が排出する
量よりも多い。

米国のフロリダ州で使
用されるクーラー1台
から1年間に排出され
るCO₂の量は、ひと
りのアフガニスタン人
が一生で排出する量よ
りも多い。

サハラ砂漠以南の
アフリカでは、人
口の80%以上が
昔ながらのバイオ
マス（生物由来の
燃料）で調理して
いる。

今、行動を
起こさない
と…

海面が1メートル上がる
と、下エジプトでは600
万の人が移住を余儀なく
され、4,500km²の農地
が浸水する。

南太平洋の島国ツバル
は、今後10年以内に
海面上昇のために居住
不可能になると予測
されている。

レバノンでは、気温が
1.2℃上昇すれば、利用
できる水が15%減ると
考えられる。

希望か絶望か。 今が決断の時。



Maria Mercedes Toledo, エクアドル

気候変動の緩和：問題をこれ以上深刻にしないために

世界は、気候変動の問題に 2つの方法で対処しなくてはならない

● 危険な気候変動を避けるため、CO₂ガスの排出を削減していかなければなりません。これを**気候変動の緩和**と呼びます。

● すでに起き、もどに戻すことができない危険な気候変動から自分たちと財産を守っていかなければなりません。これを**気候変動への適応**と呼びます。

緩和によって、エネルギー使用の方法を変えて損害がこれ以上大きくなるのを避けなくてはなりません。適応によって、すでに起こしてしまった損害から自分たちを守らなくてはなりません。

緩和って何？

すでに起きてしまった気候変動のなかには、もどに戻すことのできないものもありますが、効果的な緩和対策によって、将来の危機を回避することは可能です。つまり、世界は炭素排出を減らし、エネルギー政策の根本的な変更を行う必要があるということです。

緩和を成功させるための3つ基盤

炭素の価格化

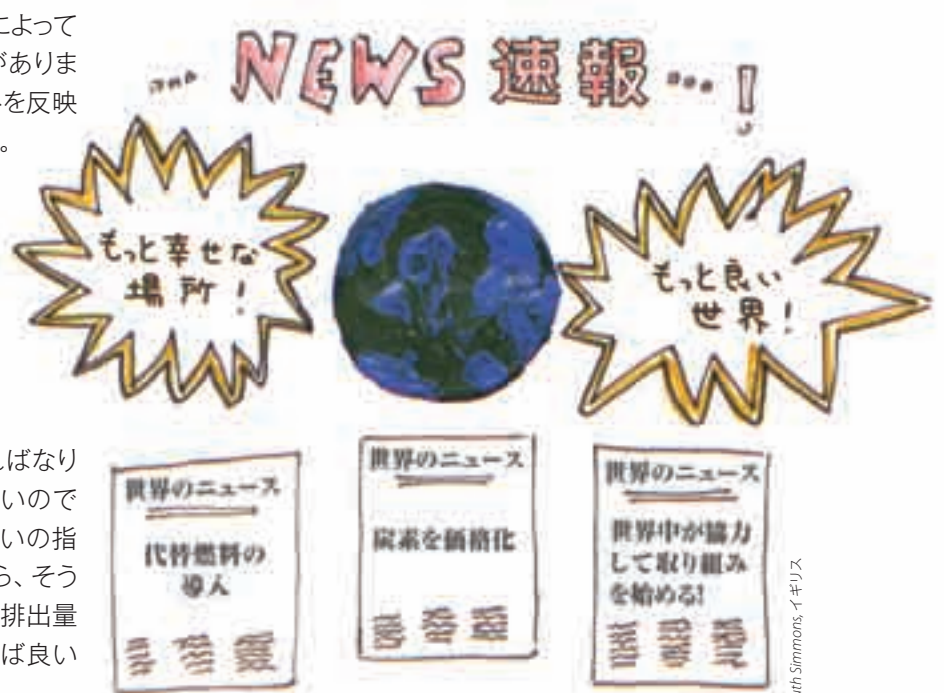
課税と「キャップ・アンド・トレード」によって炭素の排出に値段をつける必要があります。炭素ガスの本当の社会的コストを反映した値段をつけなくてはなりません。

転換

化石燃料に頼ることを減らし、ほかの低炭素エネルギー資源に転換しなくてはなりません。

国際協力

国々は協力することを学ばなければなりません。温室効果ガスに国境はないのです。豊かな国々は気候変動との戦いの指導的立場をとる力があるので、そうすべきです。簡単なことで、自国の排出量を大幅に、そして早期に削減すれば良いのです。





ザファラーナ・ウィンド パークの風力タービン (エジプト)

気候変動の緩和には、技術革新と、広い範囲での環境的に持続可能な技術への迅速な転換・使用が必要です。

風力は基本的に無尽蔵の再生可能なエネルギー源なので、風力発電機を使用した発電は持続可能な発電です。再生可能なエネルギー源には、ほかに水力や太陽光エネルギーなどがあります。

緩和：問題をこれ以上大きくしないために

緩和対策

炭素税って何？

政府が排出されるCO₂の量に応じて徴収する税金です。排出される炭素に税金をかけることで、排出の削減が経済的に理にかなうしくみになっています。

クリーン開発メカニズム (CDM) って何？

京都議定書の取り決めのひとつで、工業の発達した先進国が、温室効果ガスを減らすことを約束したうえで、自国の排出を削減する代わりに、開発途上国の排出を削減する事業に投資することを許可する制度です。

キャップ・アンド・トレードって何？

まず、ひとつの国あるいは複数の国が、一定の期間に排出できる炭素量の最高値（キャップ）を決めます。この値（キャップ）はさらに企業や産業が売買できるように細かくされた炭素量（炭素クレジット）へ分割されます。もし、ある企業が排出できる値（キャップ）を超えてしまった場合、まだキャップがいっぱいになっていない企業から「トレード」として余分な炭素クレジットを買うことができる制度のことです。

習慣を変え、世界を変えよう

世界では、化石燃料をたくさん消費する生活が習慣化してしまいました。この習慣を変えるには世界がひとつになって努力しなければなりません。化石燃料に頼っているエネルギー供給制度も改めなくてはなりません。そして、炭素排出を抑えると同時に、低炭素技術、風力・太陽・水力発電などの再生可能エネルギー、地熱ヒートポンプや電気自動車の導入などを進めていかなければなりません。原子力発電には賛否両論がありますが、代替エネルギーの選択肢のひとつとして考えていく必要があります。

先頭を切るカリフォルニア州

米国はまだ具体的な排出削減目標を示していませんが、カリフォルニア州はちゅうちょする米国政府の先をいく取り組みを進めています。具体的には、温室効果ガスの排出上限を2020年までに1990年と同等に減らす、2016年までに新車の排気を30%削減すること、太陽発電パネルの設置に対し今後10年間で計29億米ドル（2900億円）の補助を行うことなどを決めています。カリフォルニア州の政策に刺激され、米国の他の州も同様の取り組みや基準を採択し、エネルギー危機の緩和につながることが望まれます。

Dana Troy、米国



Martin Sanchez, ポリビア



Anna Juchnowicz, ポーランド

基準の設定

各国政府は、各国の事情に沿って排出量の上限値を決め、ただちに義務化する必要があります。

フランスは2050年までに排出量の75%の削減を、日本は2050年までに50%の削減をそれぞれ目標にしています。米国は、国としての長期目標を設定していません。

国際協定や地域協定は、国レベルでの目標値が設定され、各国がその約束を実際に守ったときに始めて有効となります。あなたの国には、国レベルの炭素排出削減目標がありますか？実現に向け着実に進んでいますか？目標は義務化されていますか？あなたも地方議員や国会議員の人にこの問題について問い合わせてみませんか？

森林破壊をくいとめよう

目に見えないCO₂の吸収源である森林が、急激なスピードで伐採されています。世界の炭素排出の20%が森林破壊によるもので、これを防ぐことは、温室効果ガスの蓄積を減らす効果的な方法です。



Vida Morkunas, 米国



Samantha Lyn Black, 米国

ペルーには6,800万ヘクタールの熱帯雨林があります。2006年まで、ペルーは毎日1,760エーカーの森林を失っていました。森林破壊の結果、シビボ族などの住む地域から動物がいなくなり、薬草もなくなっていました。昔からずっと自然と協調して生活してきたシビボ族は、自然保護の活動のなかで重要な役割を果たしてきました。今日、私たちの行為によってシビボ族の世界は変わってしまい、人口の密集した地域へ移住しなくてはなくなりました。アマゾンの「心」を失うことはできません。私たちはこの悪循環をやめなくてはならないのです。

気候変動への適応：起きてしまった気候変動とともに暮らす

適応って何？

適応とは、人々が気候変動によるリスクとうまく折り合いをつけて暮らせるようにすることです。気候変動の影響から生活を守るための設備（インフラ）や制度に投資をすることです。

誰が影響を受けるの？

やがては、すべての国が気候変動の影響を受けることになるので、適応はすべての国に必要です。

しかし、適応の中身は、国によってさまざまです。裕福な国では政府が綿密な気象災害防御システムを導入することもできますが、資金の乏しい国では適応対策は困難です。貧しい国では、洪水や暴風雨に見舞われたときのために泳ぎを覚えることが対策であるかもしれません。残念ながら強力な防御策を一番に必要とする国々こそが、そのための資金を負担する力がないのです。

インドネシアでは、気候変動の適応対策のひとつとして、マングローブの植樹を行っています。



提供：KeSEMaT

「貧しい人々は、気候変動による災害の際にも泳いで逃げるか、おぼれるしかありません。このような状況に貧しい人々を置いておくのは、倫理的にまちがっています。まるで適応のアパルトヘイト（人種差別）の世界に知らぬうちに陥りつつあるようなものです。」

デズモンド・ツツ元大主教
（ケープタウン）

4i's

どうやって適応するの？

効果的な適応計画には
4つの「i」が必要。

- **information: 情報**
効果的な計画のため
- **infrastructure: 設備（インフラ）**
気象災害の影響を防ぐため
- **insurance: 保険**
社会的リスクを管理し、
貧困を減らすため
- **institutions: 組織**
災害リスクを管理するため

ニューヨークも、インドとバングラディッシュのガンジス川デルタ地域も、海面上昇による洪水の危険が増しているのは同じです。しかし、それらの地域が皆、同じような影響を受けるわけではありません。ニューヨークに住む人々は防御策を講じる余裕があり、新たな脅威が生まれれば素早く対応することができます。ガンジス川デルタに住む人々は、ほとんど気候変動の原因を作っていないにもかかわらず、必要な対策を取ることができないままです。『人間開発報告書2007/2008』では、すべての国々に必要な適応策を実行するには、先進国が、2015年までの毎年約860億米ドル（8兆6000億円）を投資する必要があると試算しています。

多くの開発途上国では適応のための計画が不十分です

「現在の枠組は、洪水が起きているのにスポンジを支援物資として配っているようなものでしかない」

『人間開発報告書2007/2008』（p.197）



「最善を望み、
そのために努力し最悪に備えることが、
適応計画にとって有益な第一原則である」

『人間開発報告書 2007/2008』(p.197)

適応：気候変動とともに暮らす

イギリス

環境庁は、テムズ川沿いの防波堤の強化に80億米ドル(8000億円)を要求しました。現在、洪水と海岸線の浸食への対策に、毎年約12億米ドル(1200億円)の費用が使われています。

ハイチ

国の対応計画では、水不足と洪水や土壌浸食への対策に1,100万米ドル(11億円)が必要だと推測しています。

米国

カリフォルニア州は、干ばつ地域の水を維持するため、広大な貯水池と水路からなる設備を建設しました。

エクアドル

農家の人々は、古くから伝わる「U」の字型の池を掘り、降雨の多い年には水をため、干ばつの年には地下水の水を供給できるようにしています。

エチオピア

プロダクティブ・セーフティ・ネット・プログラム(PSNP)は、1カ月に4米ドル(400円)までの現金あるいは食品を供与することで、約500万人に収入と雇用を提供しています。これによって、気象災害による被害を減らすことができます。

世界ではどんな適応策がとられているの？

オランダ

30億米ドル（3000億円）の予算が洪水対策にあてられています。マースボメル村では、大きな金属製の支柱で川底に固定され、洪水の時は船のように水の上に浮くことのできる家が37軒建てられています。

日本

日本政府による海面上昇に対するより効果的な対応を導入する計画は、実行に約930億米ドル（9兆3千億円）かかると言われてしています。

メコンデルタ（ベトナム）

洪水や暴風雨の対策として土手を築き、マングローブを植えています。集落では、人々に水泳を教えたり、救命胴衣を配ったりしています。

スリランカ

海水の侵入や水不足にも耐えられる品種のコメ栽培を試しています。

ネパール

洪水の危険がある地域では、見張り台などの早期警報システムを作ったり、堤防を強化したりして、氷河湖が決壊したときに備えています。

インド

モンスーンによる洪水に備えてガンジス川デルタ地域の女性たちが、マチャンと呼ばれる避難台を竹で築いています。

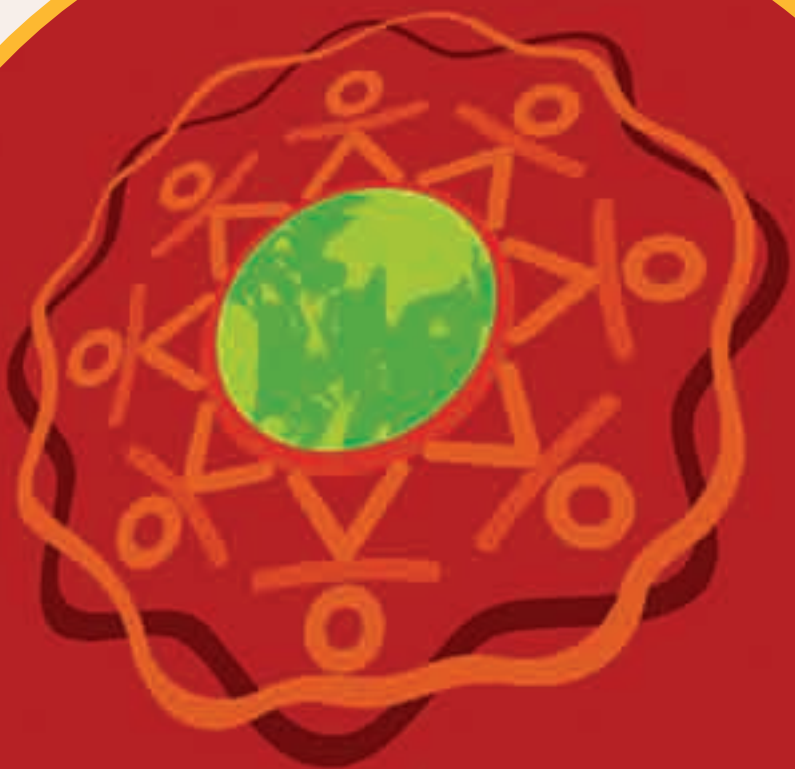
**でも、これだけでは
取り組みが足りません！**

ひとつになって立ち向かう！

国際連合(国連)は、20世紀の前半に2度も世界を襲った大戦を受けて1945年に設立されました。国連は、「世界人権宣言」を創案し加盟国政府に同意させる任務を負っています。したがって、国連は、気候変動の影響から人権を守るという新たな運動においても中心的な役割を担っています。

国連の役割

国連がすべきことは、「国際連合 (United Nations)」という名の示すとおり、世界の国々(nations)を結びつける(unite)ことが、その使命です。しかし、実際には、各加盟国がその結びつきを願う気持ちを持たなければ、実現しないのです。各国は政府に代表され、政府は私たち国民によって、その方向性が決まります。世界各国の青年による地方や国を代表する議員への働きかけは、最終的には国際的な舞台へと吸い上げられ、国連の決定を左右することになるのです。気候変動は世界中の人々に影響を与える地球規模の脅威です。各国がひとつに力をあわせて対応していけるよう、国連の力を強くしていくことがとても大切になってきます。それぞれが、自分のことばかり考えているのは、気候変動に対する危機と立ち向かうことはできないのです。さあ、ひとつになって立ち向かいましょう！



Martin Sanchez, ボリビア

気候変動は、まさしく国連が中心となって取り組むべき地球規模の課題です。気候変動への対策は、2つ方面から行う必要があります。まず、世界は温室効果ガスの排出削減への行動を次の段階へ移すこと、それと同時に適応策を実行することが求められています。また、気候変動と戦うための新たな技術の開発、すでに存在する再生可能技術を経済的に実現可能にすること、そして技術の普及を進める力も必要なのです。

潘基文(バン・ギムン) 国連事務総長

私たちの声が影響力を持つようになるまでの流れ

青年たちの声 ▶ 地方の議会 ▶ 国会 ▶ 政府 ▶ 国連

国の責任について

国連の力は、国々が力をあわせることができるかどうかによって決まります。化石燃料の消費量を増やし続ける国があれば、消費を削減している国は、排出削減にかかった経費のために経済的に大きく不利となります。平等な競争

舞台は国連しか作ることができません。私たちには、国の代表者が国連の義務協定に署名し、また協定を確実に守るようにする役割があるのです。

気候変動は、現在の人類が直面している最も深刻な問題と考えられています。
世界の若き市民として、私たちは、「国連が十分な対策を推進しているか」という
問いを投げかける責任があります。

国連は何をしているの？

京都議定書:
国連の仲介によって、2012年までに温室効果ガスを1990年に比べて5%削減することを義務目標として定めた、気候変動に対する多国間の取り組みの第一歩となる協定が1997年12月に結ばれました。しかし、現在の科学的見解は、5%では不十分だと指摘しています。けれども、実際には米国など、京都議定書を批准していない国があるうえに、多くの国が5%削減という甘い基準ですら達成できないと考えられています。



27

バリ島での画期的な躍進:

2007年12月、インドネシアのバリ島で開かれた国連気候変動会議には180か国の代表者が参加しました。多くの押し問答の後、ついに米国までもが「パリ・ロードマップ」を承認しました。気候変動は深刻な問題であり国際社会にとって最重要課題のひとつであると、世界の主要国のすべてが認める初めての機会となったのです。批評家から見れば、「おめでどう!でも、排出量の基準はまだ合意されてないけど?」と言いたいところでしょう。しかし、これは第一歩であることには違いありません。ロードマップには、私たちが進むべき道が示されているのです。

「バリ島の国連気候変動会議に参加した際に、200人の青年代表と活動をともしする機会がありました。青年たちも、政府の責任を監視し、仲間や一般市民に情報を提供することで、気候変動との戦いのプロセスに影響を与え、重要な役割を担うことができるのだとわかりました。」

Adam MacIsaac、カナダ

次は2009年12月のコペンハーゲン:

コペンハーゲンは、「ポスト京都議定書」(すなわち、京都議定書で定められた削減対象期間が2012年に終わった後)の炭素排出の大幅な削減を決定する非常に重要な話し合いの場になると予測されます。189か国の大臣や高官が参加する予定ですが、科学者は2020年までに炭素排出量を25%、2050年までには50%削減する案に合意する必要があると発表しています。このコペンハーゲンで決まった協定を受け入れなければ政府を支持しない、と国の代表者に意思表示することは、私たちの義務だと思いませんか?



未来を見つめる青年の視点：2℃の気温上昇をめぐるふたつの選択肢

選択肢その1

気候変動に対して、何の行動を起こさない=紛争

私たちが危険な
対立へと導く
シナリオ

規制のない、
代価のないままの
炭素排出

地球の
気温上昇

南極・北極や
山間部の氷の融解、
海面の上昇、海岸域の
洪水、河川の干上がり
そしてさまざまな
異常気象

食糧・燃料・
土地資源の
不足の悪化

飢えや水不足
による強制的な移住、
水や耕作が可能な土地の
ある地域への侵略、資源
と生存を求めた世界
規模の紛争

気候変動を避けなければ：

チベット高原の氷床が溶けてなくなり、東南アジアの河川域は干上がり、10億の人々が水を求めて北のシベリアへと移住を余儀なくされます。

北米山地の雪や氷が溶け、何百万もの人々が水を求めてカナダへ移住する可能性があります。南極大陸やグリーンランドの氷棚が溶けて海面が7メートル上昇し、3億3,000万人が移住せざるをえなくなります。

その時各国は、移住してくる人々に平和的に門を開き、自由に家や土地を与えるでしょうか。「多分そうはならない」と、歴史は忠告しています。

自然の怒り

なぜ戦う？なぜ戦争をする？
もはや平和に暮らすことはできないの？
気候変動は次々と破壊をもたらし
ハリケーン・カトリーナは異常な力をもって
人々の心に暴力と憎しみを植え付けた。

「Power to the People！人々に力を！」と
抗議する者は呪文をくり返す
けれども、その声は空っぽのトンネルに鳴り響いている
こうかつな者は去り
人々が再び目を覚ますときがきている。

イエローケーキ*を求める旅は、見せかけの冒険劇
主人公は理解の範囲を超えた争いに疲れ
争いの時代に暮らす人々を神の怒りが襲う
地球に負担をかけ過ぎたという罪で。

けれども、希望は失われていない
やがて、人々は気候変動と戦いに疲れ果て
明るい明日を求めて声をひとつに歌い出す。

* イエローケーキ：ウラン鉱粗製物。核燃料のもと

Vaakesan Guruparan、オーストラリア



Lara Elena Ramos Simielli, ブラジル

気候変動による移住は、小さな島国ではすでに現実となっている

気象変動による移住は未来の話ではなく、地域によってはすでに現実の問題となっています。住み慣れた土地が荒れ果て、移住を余儀なくされている人々がいます。

小さな島国たちは特に大きな影響を受けます。パプアニューギニアのブーガンビル自治区にあるカータレト島の1,500人の住民は、「永久的な避難」を始めています。このサンゴ礁の島の

周囲では、海面が過去20年に10センチも上昇しているのです。

太平洋の島国ツバルは、海面上昇のために今後10年の間で住むことができなくなると予測されており、ほかの島々も浸水を受けると考えられています。キリバス共和国やバヌアツ共和国の人々は、上昇する海面のためにすでに家を移動しています。



写真: ピップ・スター (FoE オーストラリア www.foe.org.au 提供)

「ヒトラー、スターリン、ポル・ポトといった名は何百万人もの人々を死に至らしめた悪魔の名に等しい。しかし、今日、ヨーロッパや北米の自由主義と言われる政府が気候変動に対して何も行動を起こさずにいることが原因で「大量殺人」が起きている。これに比べれば、ヒトラーもスターリンも皆初心者みたいなものだ。気候変動に対して何も行動を起こさなければ、何十億もの命を奪うことになりかねないのだから。」

デーヴィッド・ウールコーム (ピース・チャイルド・インターナショナル代表)

「社会の紛争に対処する能力を育てることは、気候変動への適応能力を強化することになる。ふたつは異なった作業のように思えるが、実際に必要な能力は実質上同じものだ…。」

ジャン・スミス、
ジャンニ・ヴィヴェカーナンダ
(インターナショナル・アラート)

選択肢その2

気候変動に対して行動を起こす
＝脱炭素の時代の到来！

「気候変動との戦いでは、環境上の至上命題を経済の中心に据えることが求められる。しかし現在の国際協力はこの目的を果たすためには充分ではない。世界がまず必要としているのは、温室効果ガスの排出を長期的な視野で削減する、拘束力のある国際合意だ。」

『人間開発報告書2007/2008』(p. 34)



あなた自身が変化となってください

幸せな未来は実現可能！ では、なぜ、実際に起きていないの？

費用の問題：しかし、この言い訳は受け入れられません。2008年1月号の『サイエンティフィック・アメリカン』誌に掲載された「太陽光利用計画」では、米国が、高压直流(HVDC)送電網を全国に設置し太陽光と水素をもとにした経済に転換するためには、40年間で4200億ドル(42兆円)が必要だと試算していました。これは、米国が5年間でイラク戦争に費やした費用の5分の1でしかありません。**もっと研究が必要？：**力、資金や政治的意思を研究に向ける必要があります。私たちはもっと大きな声で発言し、政府を動かさなくてはならないのです！

おはよう、 美しい世界

今朝、いい気分が目覚め、とても幸せだった
窓の外を見て、すてきなことに気がついた
木々には花が咲き、果物が実っている
空気は澄んでいて汚れていない。水は透き通っている
裏庭もきれいで、ごみはきちんと分別されている
下水は川へ流されず、処理されて気体になり、もはや汚染することもない
鳥は森で楽しく遊び、
牧草地に緑があふれ、動物は幸せそうだ
世界が、今までとは全く違うことに気づいた
家のなかでは家族がテーブルを囲み
暖かいお茶を飲んで、楽しく話をしている
弟たちは、世界はすてきなところだと、
楽しそうに遊んでいる
テレビでは、地球の温暖化が終わったと告げている
世界中で最大の問題だった暴力も、
もうどこにも見られない
食べ物は汚染されていないし、人々は健康だ
誰もが仕事につくことができ、
金持ちも、貧しい人もいない
汚職も、人種に対する偏見もなく
人々は平和に暮らし、戦争はすべて終わっている
そして・・・夢を見ていたのだと気がついた
怖くて目が覚めると、私を呼ぶママの声がした
今の現実、夢に見たのとは違っている。でも、明日の現実が、夢に見たのと同じになるように、今日、私たちはもっと何かをしなくては！

Jonathan, São José do Rio Preto (SP)、ブラジル

今、社会が脱炭素を実現するために投資すれば、このページに書かれた詩に出てくるような世界を実現することができるでしょう。

脱炭素社会とは：

- ◆大規模な沖合風力発電施設
- ◆何千平方キロメートルもの太陽光発電施設
- ◆使用されていない鉱山や地下洞窟に作られた圧縮空気貯蔵システム
- ◆高压直流(HVDC)送電網
- ◆各家庭に設置された地熱ヒートポンプと太陽光パネル
- ◆水素燃料飛行機
- ◆電気自動車や電気トラック

地球規模の課題に ひとりひとりが取り組む

あなたにできることは？

気候変動との戦いで個人に何ができるだろうと考えると、旧約聖書のなかで巨人ゴリアテと戦う少年ダビデや、むかし話でウサギと競争するカメのように感じてしまうかもしれません。でも、お話の最後に勝利を収めるのは誰かを思い出し、勇気を出してください。

「あなた自身が、
この世界に望む
変化となれ」

マハトマ・ガンジー

膨大な科学データや黙示録的なこの世の終わりについて考えてみると、問題から目をそむけたくなりますが、「危機」はふたつの漢字、「危険」と「機会」からなっていることを考えてみてください。私たちは危険を察すると同時に行動を起こす機会を逃さないようにしなければなりません。

まず、この冊子を読み終えたらすぐに始められる、簡単なことから見てみましょう。

あなたができる簡単なこと

買物にいくときは：



- マイバッグを持っていく。レジ袋をもらわない。
- 食べ物は食べられる量だけを買う。イギリスでは、1年間に670万トンの食べ物が捨てられています。そのほとんどが埋立地で腐り、強力な温室効果ガスであるメタンを排出しています。
- 近くのリサイクルショップで買物をし、自分のいらなくなった服やCD、本などを寄付しましょう。
- リサイクルを利用し、自分の町のなかでいらなくなったものを寄付したり無料でもらいうけたりしましょう。インターネットなどには、ものを再利用するアイデアがたくさん掲載されています。

学校や大学では：

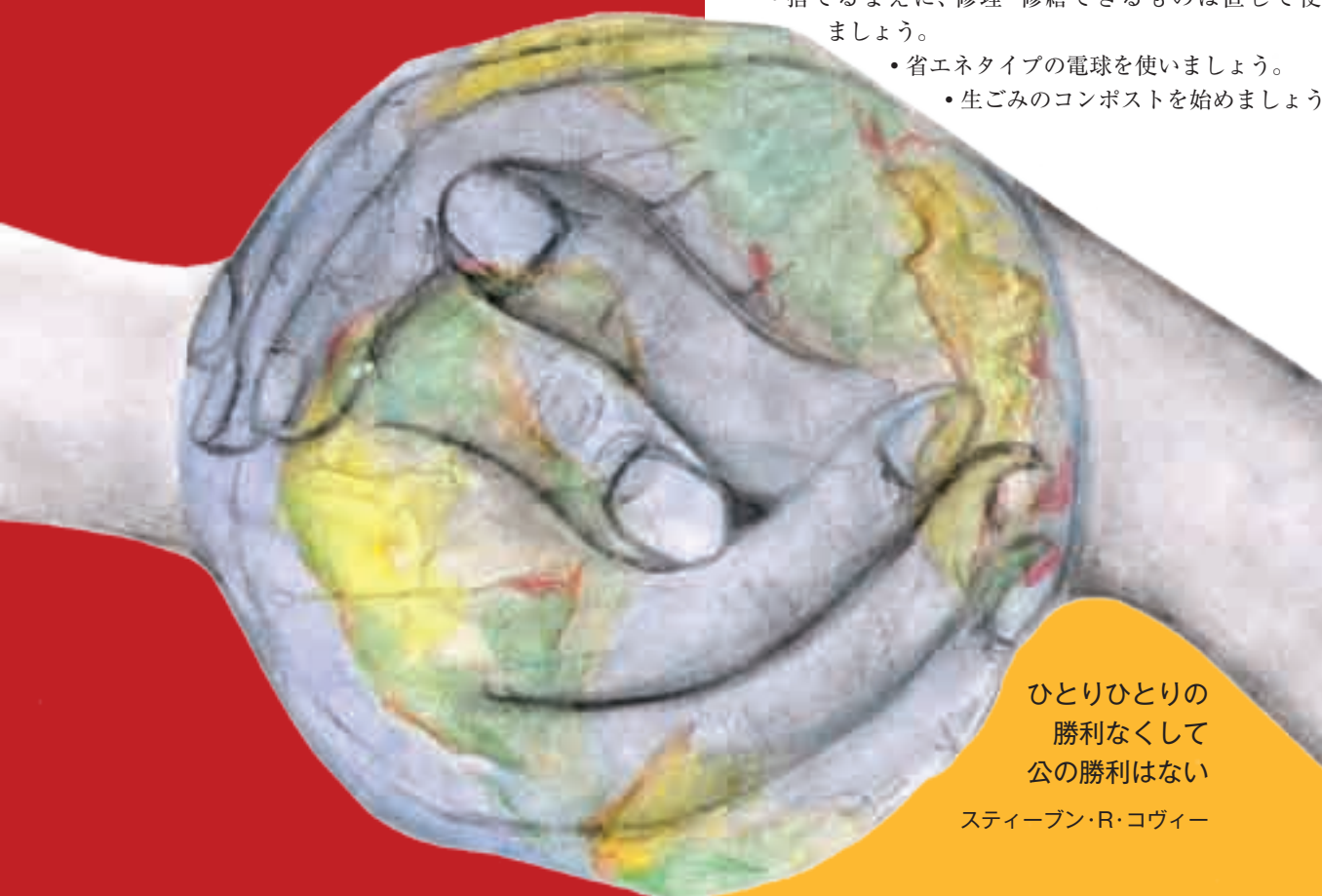


- 通学には自転車や公共交通機関を利用しましょう。自転車は世界で最も効率的で環境にやさしい交通手段です。
- 学校や大学で使用する印刷物は両面コピーをしましょう。コピー機のそばに両面コピーを奨励する張り紙をしましょう。
- マイカップを持参し、お茶の時間に発泡スチロールやプラスチックのカップ、紙コップを使うのをやめましょう。

家では：

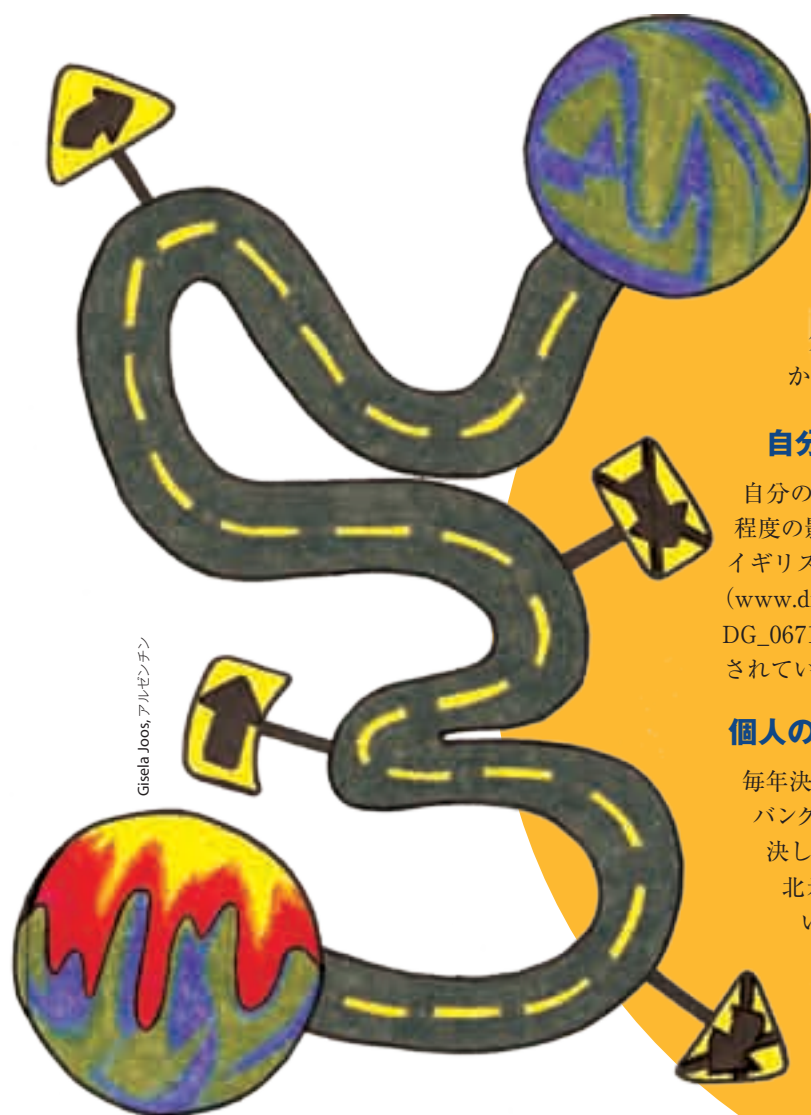


- いらないダイレクト・メールが送られて来ないように連絡しましょう。
- なにはともあれリサイクル。ガラスびん、缶、段ボール、紙、CD、電池、封筒、雑誌、新聞、電話帳、カタログ、プラスチックなど、できるものはすべてリサイクルしましょう。
- テレビ、コンピュータ、携帯電話の充電器など、使わないときは、スイッチだけでなく主電源を切りましょう。
- 捨てるまえに、修理・修繕できるものは直して使いましょう。
- 省エネタイプの電球を使いましょう。
- 生ごみのコンポストを始めましょう。



ひとりひとりの
勝利なくして
公の勝利はない

スティーブン・R・コヴィー



Gisela Joos, アルゼンチン

ちょっと難しいけどやってみよう

小さな変化を少しずつ起こしていくことも重要ですが、大事なものを得るには、それなりの代価が必要です。気候変動のような大きな問題は、革新的で、かつ少々不便かもしれない生活様式への適応も必要となるでしょう。

自分の排出量を量ろう ✓

自分の排出量を計算することは、自身が気候変動に対してその程度の影響を及ぼしているかを知る最善の方法です。

イギリス政府による計算方法

(www.direct.gov.uk/en/Environmentandgreenerliving/actionco2/DG_067197) など、インターネットにいろいろな計算方法が掲載されていますので量ってみましょう。

個人の炭素割当て量を考えてみよう ✓

毎年決まった量の炭素しか排出できないとしたらどうしますか？ バングラディシュやサハラ砂漠以南のアフリカに住む人々の多くは、決して自分の割当て量に届くことはなく、一方でヨーロッパや北米に住む人の多くは、毎年割り当てられた分量を超えています。平均的な北米の住民は、平均的なアフリカの住民の100倍以上、炭素を排出しています。

**炭素割当てのしくみは
このようになっています**

自分の家をエコにしよう ✓

家の省エネについて家族と話し合しましょう。窓や壁の断熱材は充分ですか？ 太陽光パネルや地熱ヒートポンプ（GSHP）を設置して自然エネルギーを利用することは可能ですか？ GSHPは、地中の熱を利用して家や水を温める方法です。家庭用の小規模な装置で、大気に排出される炭素を7トン減らすことができます。

エネルギーの固定価格買取制度を促進しよう ✓

固定価格買取制度の導入を政府に働きかけましょう。これは、再生可能なエネルギーの使用や開発を促進する、簡単で、安く、効果的な方法です。制度は簡単：政府は各家庭に対し、太陽光や風力など再生可能エネルギーを使用した発電を推奨します。使用して余った電力は全国的な送電網に送ります。2005年以来この制度で世界のトップをいっているドイツでは、電力の10.2%が再生可能なエネルギー源で発電され、そのうちの70%が固定買取価格制度で買われたものです。この方法で2010年までに5,200万トンのCO₂が削減されます。

x = 1年に排出できる炭素の量



y = 世界の人口



したがって

$x \div y =$ ひとりの排出割当て

この算出方法をどう思いますか？ 炭素排出量を平等に分配する方法はうまくいくと思いますか？ インターネットで議論に参加してみましょう（英語）。

www.brainnoodles.com/weblog/archive/2006/06/04/Personal_Carbon_Quota_Allowance_Ration.aspx

青年たちへ： 街に飛び出そう！

現在、地球の25歳以下の青年層人口はこれまでの最高の30億人。これは世界人口の約半分です。これだけの数がいれば、政府に対する陳述行動、キャンペーン、ポスター、デモや議論などを通じて変化をもたらすことができる

のは明らかです。実際、世界で多くの青年たちが、あふれんばかりのアイデアと情熱を持って、活動し、自分たちの声を届けています。あなたも一緒に声を届けませんか？

米国政府への 働きかけを続ける

サステインUS、www.sustainus.org
(米国)

サステインUSは、持続可能な開発と青年の権利拡大を求めて活動している米国に住む青年たちの団体です。彼らは、2002年の持続可能な開発に関する世界首脳会議(WSSD)をまえに、ブッシュ大統領と「賭け」を行ったことで注目を浴びました。青年たちが、公約によって20,000トンのCO₂削減を実現できれば、ブッシュ大統領が5人の青年たちとともにWSSDに参加すること、実現できなければ彼らは大統領あるいは政府高官を自転車リキシャで1週間送り迎えをすることが賭けの条件でした。

20,000トンのCO₂の削減は実現し、サステインUSは賭けに勝ちましたが、ブッシュ大統領は約束を果たさずWSSDに参加しませんでした。

バングラディッシュでの 現場主義活動

Nafiz Zaman Shuva
(バングラディッシュ)

私はバングラディッシュ青年研究者会(BAYR)の会長をしています。この会は、バングラディッシュで唯一の青年たちによる研究と開発の全国的な組織です。

気候変動についての情報を国民に提供し啓発する際、青年たちは重要な役割を果たします。バングラディッシュの人々の多くは、自分たちが体験している苦しみが人間の活動を原因とする気候変動と関係しているということを知りません。また、気象変動の影響から自分たちを守るための情報もありません。このようなことから、グリーン・アース・バングラディッシュと協同運営の「環境にやさしいプログラム2008」や、全国の青年たちに現在の気候を維持する方法を教えるプログラム「Act Now」など、多くの気候変動に関連するプロジェクトを始めました。

デリーの 将来について討議する

2008年5月28日、150人の若手専門家とNGOの代表者が第1回「気候に関するデリー青年サミット」(DYSoC)に参加しました。気候変動の脅威に直面したデリーの将来について相談や議論を行うことが目的でした。水供給、ゴミ処理、エネルギーと交通など、多様な問題が討議され、青年たちからの解決案が、「気候に関するデリー青年憲章」にまとめられました(<http://whatswiththeclimate.org>でダウンロード可能)。



Ditya Kanon, インド

フランス人の私がイギリスでメッセージを訴える

by Virginie Mercier, フランス

イギリス政府がロンドンのヒースロー空港に3本目の滑走路の建設を計画していると知り、私は激しい怒りを感じました。新しい滑走路の建設は、時代に大きく逆行しています。CO₂に国境はなく、ヒースロー空港の発着時に排出された炭素は、イギリスの上空に留まっているわけではありません。ですから、抗議するにあたって、私の国籍も



関係ありません。政府が危険な気候変動へ続く道を進むのであれば、個人が持続可能な生活を送っていても、意味がなくなってしまいます。このような理由から私は抗議行進に参加しました。滑走路建設に「NO」。気候変動に「NO」。政府による私たちの未来のハイジャックにも「NO」!

Photo: Matthias Schmidt, ドイツ

行動する青年たち： ココロに残るはなし



Carolina Santiago, マレーシア

子どもたちの声

ブラジルのリオデジャネイロで1992年に開催された地球サミットで、カナダに住む12歳のセヴァン・スズキは、参加した世界の代表者の心を動かすスピーチを行いました。彼女のスピーチによって、青年たちの視点から見た気候変動に世界中が目を向けるようになったのです。

「このスピーチに隠された意図は何もありません。ただ、私は私の未来のために戦っているだけです。未来を失うということは、選挙で負けたり株で多少損をしたりすることとは、全く違った次元の問題です。私は未来のすべての世代を代表してスピーチをしています。」

セヴァンは、2002年、コフィ・アナン前国連事務総長の諮問委員会のひとつとして、「スカイフィッシュ・プロジェクト」というインターネットを基盤としたシンクタンクの立ち上げを支援しました。20代になった今でも、セヴァンは環境問題について世界各国でスピーチを行い、自分たちの価値を守ること、未来を考えて行動すること、個人の責任を果たすことを訴えています。セヴァンが世界のリーダーに語りかけた有名なスピーチは、www.youtube.com/watch?v=uZsDliXzyAYで視聴することができます。

家のなかでも活動はできる！

ケニアの青年組織、ユース・インターコミュニティ・ネットワーク（YIN）のラファエル・ワンジャリア・ジャラルヒと仲間たちは、森林破壊をくいとめるため、農村で使用されるエネルギーを変える活動を行っています。

YINは、省エネ型の料理用コンロを作って配り、木材の供給を枯渇させ森林破壊へとつながる薪の使用をやめるよう訴えています。ラファエルによると、ケニアの農村では村民の75%が調理に薪を使用しています。これが環境破壊の原因になり、

食糧不足が国の大きな問題となっています。

伝統的な方法と地元の材料（主に粘土質の土と石）を使った省エネ型コンロのほとんどは、青年たちの手で作られています。コンロを受け取る人々は、コンロの使い方、手入れ法、整備などを教わり、後に使用する人たちにも伝えています。このように重要なのは、メッセージを伝え、受け継いでいくことなのです。

現在と将来の気候変動の影響に実用的で効果的な方法で対処していくことで、農民や青年の権利を高めていくことが、YINの目的のひとつです。

マハトマ・ガンジーが「あなた自身が、この世界に望む変化となれ」と言ったのは、どういう意味だったのでしょうか。私は、自分の行動を変え、自分がほかに与える負担を減らし、模範を示す必要があるということだと思いました。それで、世界を自転車一周することにしたのです。

バンクーバーから東に走り続けて北京に到着、合計3大陸の15ヶ国で19,000キロ以上を走りました。

2日として同じ日はありませんでした。寝るのも、料理するのもほとんど屋外でした。カナダではクマに出くわし、モンゴルでは道のないゴビ砂漠を走り、シベリアでは道とも呼べない危険な道をいき、ほかにもいろいろな経験をしました。旅を通じて、人間について、謙虚さについて、そして自然について、実に多くのことを学びました。今日の世界では、自然のなかに自分をさらけ出すチャンスがほとんどないのだということにも気づきました。そしてそのような機会に巡り合わせるということにも気づきました。そしてそのようないのです。

と、私たちは自然に対して謙虚にならざるをえないのです。

私が冒険の旅の間に会った何千人もの人々に、私と同じ体験をして欲しいと考えてはいません。でも、私の行動が、少なくとも何人かの人の心を変えようとして行動を起こすきっかけになってくれることを望んでいます。もしそんな人がいなかったとしても、少なくとも私自身は「望む変化となる」ことができました。

By Damien A. Côté, カナダ
ガンジーさん、ありがとう。



Sorouche Mimiran, カナダ

もっと活動を 広げていこう

ここまで読んでくださった皆さんは、事実を知り、活動の例を読み、行動をとらずにいると世界がどのようなになってしまうのかを知ることができたと思います。では、次に「私自身にもっと、何ができるだろうか」と考えてみてください。このページにはヒントがたくさんあります。

もっと知ろう！もっと学ぼう！

国連環境計画 (UNEP) の発行する情報誌、**TUNZA**、<http://itsgettinghotinhere.org> などの国際ネットコミュニティ、www.stopclimatechaos.org や www.youthagainstclimatechange.org などのグループなど、青年向けウェブサイトや雑誌を読んでみましょう。



Chloé Gaudet, カナダ

もっと活動しよう！ もっと行動しよう！ もっと参加しよう！

もっと作ろう：アート作品は、メッセージを伝える強力な手段です。あなたの考えをエッセイ、絵画、写真、劇、歌、ダンスにのせて伝えましょう。

『グリーン・ピース・チャイルド』は、リハーサル・演技・描き直しの作業を通じて青年たちの持てる力を伸ばすことを目的に作られたミュージカルです。info@peacechild.org に連絡して台本をもらい、アイデアを借りて、自分たちで上演してみてもいい？

もっと質問をしよう：政府だけでなく、あなたがものを買ったりサービスを受けたりしている企業にも質問をしましょう。「お得意様」の意見は企業にとって、とても大切です。あなたの意見で、会社はもっと環境意識を高めるかもしれません。例えば、FSC (www.fsc.org) やウッドマーク、スマート・ウッドなどの環境マークのついた商品だけを買うようにして、違法な森林伐採を防ぎましょう。あなたが買っているものが、どのようにしてお店まで来たのか考えてみましょう。好奇心と意識の高い消費者になりましょう。

もっと自然を称賛しましょう：なぜ、地球の保護に熱心になる必要があるのか？それは、地球はかけがえのない、美しいものだからです。自然の神秘をたたえ、自然保護に対する気持ちを高めましょう。



Chloé Gaudet, カナダ

参加しよう：自分の国の活動グループに加わって活動しましょう。例えば、

エネルギー・アクション・コーリション (Energy Action Coalition) (北米) www.energyactioncoalition.org

気候変動に関するアフリカ・ユース・イニシアチブ (African Youth Initiative on Climate Change)

www.ayicc.org

エコ・リーグ インターナショナルチーム (Eco-League International Team) (日本)

<http://gathering.eco-2000.net/global>

中国青年気候活動ネットワーク

(China Youth Climate Action Network) (CYCAN)

<http://groups.takingitglobal.org/CYCAN>

インド青年気候ネットワーク

(Indian Youth Climate Network) <http://iycn.in>

気候変動のネットワークに加わりましょう。フェイスブックやマイスペースの「**Stop Global Warming**」には、現在200万人が参加しています。気候変動に関する中国の役割を討議するサイトもあります。

www.chinadialogue.net



Robert van Waarden, カナダ



Karina Pilar Sandoval, ペルー

「人は兄弟姉妹としてともに生きていく術を
学ばなければならない。さもなくば、
私たちは愚かものとして滅びるだろう」

マーチン・ルーサー・キング・ジュニア(キング牧師)

